

NAGOYA NOH THEATER  
JANUARY 2016

平成28年

1月3日(日)

13:00開演(12:30開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんので  
ご注意ください。

前売券発売11月4日(水)

— 徳川家康公没後四百年記念「家康ゆかりの能」 —

# 名古屋能楽堂 正月特別公演

能

「竹生島」(観世流)  
ちくぶしま  
シテ 吉沢 旭

狂言

「鶏聲」(和泉流)  
にわとりむね  
シテ 鹿島俊裕

能

「翁」(観世流)  
おきな  
シテ 久田勘鷗  
千歳 久田勘吉郎  
三番叟 奥津健太郎

ご来場の方に抽選で  
素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から  
抽選で10名様に能楽グッズを  
プレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフ  
レットに応募券[ご応募の締切は  
休憩終了まで]が入っております  
のでご確認ください。



撮影: 杉浦賢次

元和元年[1615]七月七日、二代將軍秀忠の名前で武家諸法度が発布される。翌八日には武家諸法度制定を祝う後宴能が催されている。同じように七月十七日には、二条城にて禁中並公家諸法度頒下を祝う能と狂言の催しが行われた。〈竹生島〉はこの十七日の演目。將軍宣下能に始まり、能が幕府の公式行事で演じられる「式楽」として定着してゆくみちすじを作ったのは家康であった。同年五月に大坂夏の陣で豊臣家が滅亡し、徳川二百六十四年の礎が築かれた年でもある。

主催

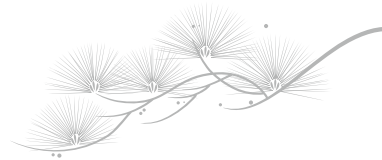


名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

能  
翁（観世流）

翁 千歳  
三番叟  
面箱持

笛 手先  
小鼓頭取  
胴脇  
大鼓  
後見

地謡  
伊藤裕貴  
本田 勲  
松山幸親

狂言後見

狂言  
鶏髻（和泉流）

シテ 髻  
アト 剪  
アト 太郎冠者  
アト 教え手  
後見

能  
竹生島（観世流）

前シテ 魚翁  
後シテ 竜神  
前ツレ 浦の女  
後ツレ 弁才天  
ワキ 朝臣  
ワキツレ 從臣  
フキツレ 從臣  
アイ 竹生島明神の杜人

地謡  
久田勘吉郎  
瀬戸洋子  
八神孝充  
本多 勲

## ◆「イヤホンガイド」

◆能「翁」

日本語 米田真理  
（朝日大学経営学部准教授）  
英語 藤江さおり（通訳ガイド）  
英語 藤江さおり（通訳ガイド）  
都により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆能「竹生島」

日本語 伊藤利香  
（名古屋能楽堂イヤホンガイド）  
英語 藤江さおり（通訳ガイド）  
英語 藤江さおり（通訳ガイド）  
都により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## ◆能解説「翁」（おきな）

新春。切火で清められた舞台に、潔斎をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟と続いて全員が登場する。

「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。

翁は狩衣、指貫。面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂。囃子・地謡などは侍烏帽子に素襖を着る。

「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝の水…」と謡い出し、若々しく颯爽とした舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角・脇座前・中央で三回ずつ拍子を踏む。これを「天・地・人の拍子」と称する。翁と千歳の退場のあと、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「揉之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。

天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。  
新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

（泉 嘉夫）

## ◆狂言解説「鶏髻」（にわとりむこ）

舅の家へ髻入りに出掛ける事となった髻は、その作法が不心得と感じて知人に教えを乞います。知人は髻に対して、舅の家では鶏の真似ごとをするのが今時の流行り（＝当世様）だと偽りを答えて揶揄います。

正直者の髻は騙されたとも知らず、準備万端・意気揚々と舅のもとを訪ねますが…。

狂言において「髻入り」とは、婿養子になる事ではなく、新婚最初の挨拶儀礼として用いられます。

「懷中髻」「音曲髻」「猿髻」など、髻入りにまつわる類曲が存在し、当時の慣習や世相が垣間見られる作品です。

## ◆能解説「竹生島」（ちくぶしま）

醍醐帝に仕える朝臣が竹生島の明神に参詣する為、琵琶湖畔の鳩の浦に着く。おりしも漁翁と若い女の乗っている釣舟がきたので乗せて貰い、美しい湖の景観を眺めながら竹生島に着く。一行は弁才天に参詣する。弁才天は女体の神であって、その神徳は男女を問わず人々にそそがれるであろうと漁翁と女は朝臣に語るが、この女は我々人間に非ずと告げて社殿に入り、翁は「我々はこの湖の主ぞ…」と云い捨て波に入る態で中入をする。朝臣達はワキ・ワキツレ。漁翁はシテ、女はツレ。社人（狂言方）が担当が竹生島の来歴を語り終わると、社殿には弁才天があらわれ波風しきりに鳴動して、下界の竜神が湖上に出現し、宝珠を朝臣に与え、竜宮へ飛び入る態で終局となる。

竹生島の景観を背景に天女が舞い、竜神が躍動する「初番能」。初番能とは神をシテとして最初に演ずる能をいうが、翁と併演の場合は、翁が最初に置かれる。また、前シテの翁は竜神の、前ツレの女は弁才天のそれぞれの化身である。

（泉 嘉夫）

チケット料金（税込み） \* 前売券発売日 平成27年11月4日（水）

|                  | 指 定<br>Reserved | 自由 Non reserved<br>plus ¥500, on the day |                                  |
|------------------|-----------------|------------------------------------------|----------------------------------|
|                  |                 | 一般 Adult                                 | 学生 Student<br>under 25 years old |
| 前 売 Advance sale | 5,200円          | 4,100円                                   | 2,100円                           |

\* 当日券は自由席のみ500円増となります。 \* 学生券は25歳以下を対象とします。

\* 事業団友の会 会員は1割引

（名古屋能楽堂・名古屋市文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ）

\* 上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。\* 未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

（平日9:00～17:00 / チケット郵送可）

\* 名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口と土日祝日も営業 &gt; でもお求めいただけます。

中京テレビ事業／TEL.052-957-3333

栄プレチケ92／TEL.052-953-0777

チケットぴあ／TEL.0570-02-9999（Pコード 447-447）

\* お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

\* 都合により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

\* 外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。（名古屋能楽堂取扱いのみ）

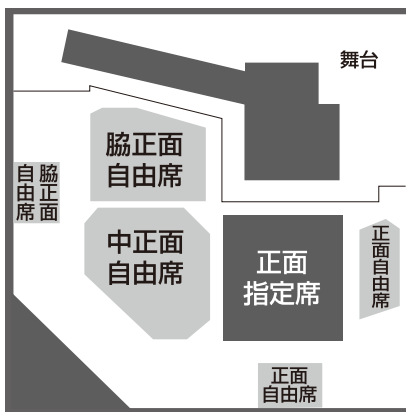
To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。（日本語／英語）Noh performance Guide／Rent-free for a wireless headset (Japanese／English)

●併設の「御食事処 城」（184席/052-222-6699）がご利用いただけます。

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 FAX.052-231-8756 <http://www.bunka758.or.jp>

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



\* 地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい  
「友の会」会員募集中！

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385